

コバノヒルムシロ	<i>Potamogeton cristatus</i> Regel et Maack	情報不足
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ヒルムシロ科
選定理由	岐阜県に生育するという情報があるが未確認。あれば極めて貴重である。	写真なし
形態の特徴	細い地下茎が横走し、そこから出る水中茎は分枝を繰り返す。沈水葉は線形、長さ3-5mm。浮葉は長楕円形、長さ1.5-3cm、幅4-10mm。花茎は長さ2cmほどで、その先に総状花序をつける。果実は花柱から発達する嘴が長く、背稜にとさか状の突起がある。	
生態的特徴	溜池などに生育する。花期は6-9月。	
分布状況	ウスリー、中国、朝鮮、台湾に分布し、にほんでは本州、四国、九州に分布する。岐阜県では県南に見られるという情報がある。	
減少要因	生育する溜池などの埋め立てと、水質の悪化によって減少する恐れがある。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘